

平成15年3月期

決算説明会



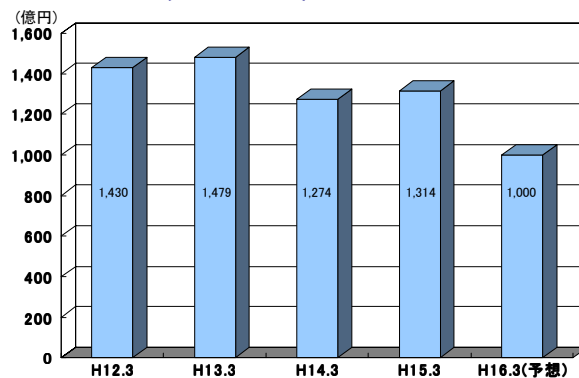
お問い合わせ先：経営財務センター広報グループ(TEL：075-312-1214)
 URL：<http://www.nippondenchi.co.jp>

平成15年3月期連結決算概要

(単位：百万円)

	当 期		前 期		増減額	増減率	平成16年3月期通期予想	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比
売上高	131,488	100.0%	127,403	100.0%	4,085	3.2%	100,000	100.0%
営業利益	2,423	1.8%	△ 807	△0.6%	3,230	—	3,000	3.0%
経常利益	2,554	1.9%	△ 1,925	△1.5%	4,479	—	3,000	3.0%
当期純利益	1,210	0.9%	△ 2,564	△2.0%	3,775	—	1,500	1.5%

業績推移(売上高)



連結貸借対照表①(資産の部)

(単位:百万円)

科 目	当 期 末 (平成15年3月期)	前 期 末 (平成14年3月期)	増 減	主 な 増 減 の 内 訳
[資産の部]				
流動資産	58,320	71,573	△ 13,253	
現金及び預金	3,882	9,255	△ 5,372	三洋GSを連結対象子会社から外した影響
受取手形及び売掛金	34,485	36,536	△ 2,051	
有価証券	—	—	—	
たな卸資産	14,304	19,098	△ 4,794	
その他	5,648	6,683	△ 1,035	
固定資産	63,213	77,059	△ 13,845	
有形固定資産	38,638	53,288	△ 14,649	
無形固定資産	757	1,340	△ 582	
投資その他の資産	23,817	22,430	1,386	繰延税金資産
資産合計	121,533	148,633	△ 27,099	

3

連結貸借対照表②(負債・資本の部)

(単位:百万円)

科 目	当 期 末 (平成15年3月期)	前 期 末 (平成14年3月期)	増 減	主 な 増 減 の 内 訳
[負債の部]				
流動負債	67,476	80,774	△ 13,298	
支払手形及び買掛金	11,522	14,274	△ 2,751	三洋GSを連結対象子会社から外した影響
短期借入金	34,424	42,917	△ 8,492	
コマーシャルペーパー	11,431	8,936	2,494	
1年以内償還予定社債	—	—	—	希望退職者退職金資金のための借入
未払金及び未払費用	8,701	12,931	△ 4,229	
その他	1,395	1,715	△ 319	
固定負債	20,620	33,059	△ 12,438	
社債	10,000	13,000	△ 3,000	三洋GSの社債償還
長期借入金	2,631	8,829	△ 6,197	三洋GSを連結対象子会社から外した影響
退職給付引当金	2,010	5,416	△ 3,406	希望退職者募集(255名)に伴うもの
その他	5,977	5,813	164	
負債合計	88,096	113,833	△ 25,737	
少数株主持分	1,853	2,084	△ 230	
[資本の部]				
資本金	14,353	14,353	—	
資本準備金	13,249	13,249	—	
利益剰余金	4,887	3,715	1,171	有価証券評価差額金
その他	△ 905	1,396	△ 2,301	
資本合計	31,583	32,714	△ 1,131	
負債・少数株主持分及び資本合計	121,533	148,633	△ 27,099	

4

連結損益計算書の変化要因

(単位:百万円)

	当 期 (平成15年3月期)	前 期 (平成14年3月期)	増 減	主 な 増 減 の 内 訳
売 上 高	131,488	127,403	4,085	
売 上 原 価	102,536	100,460	2,076	
売 上 総 利 益	28,951	26,943	2,008	日本電池 △760
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	26,528	27,750	△ 1,222	三洋GS 4,160 日本電池 △760
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	2,423	△ 807	3,230	有価証券売却益 900 支払利息減少 340
営 業 外 収 支	130	△ 1,118	1,248	
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	2,554	△ 1,925	4,479	
特 別 損 益	△ 1,312	△ 1,821	509	
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益 又 は 純 損 失 (△)	1,242	△ 3,746	4,988	
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	641	708	△ 66	
法 人 税 等 調 整 額	△ 648	△ 678	30	三洋GS 3,117 × 43.3%
少 数 株 主 利 益 又 は 少 数 株 主 損 失 (△)	38	1,210	1,249	三洋GSの利益増 3,117 × 56.7% 日本電池の赤字減 2,697
当 期 純 利 益 又 は 純 損 失 (△)	1,210	△ 2,564	3,775	

厚生年金基金代行返上益 3,050
 関係会社株式売却益 2,160
 希望退職給付費用 △3,530
 関係会社再構築費用 △1,510
 投資有価証券評価損 △720

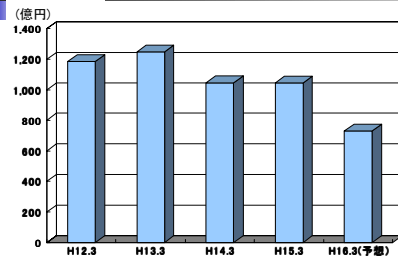
投資有価証券評価損 △1,110

5

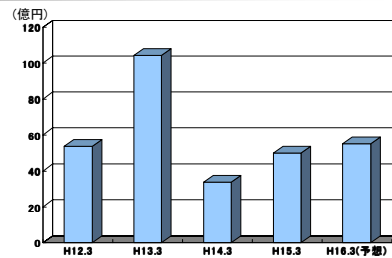
[連結]事業セグメント別業績推移

①蓄電池・電源部門

[売上高]

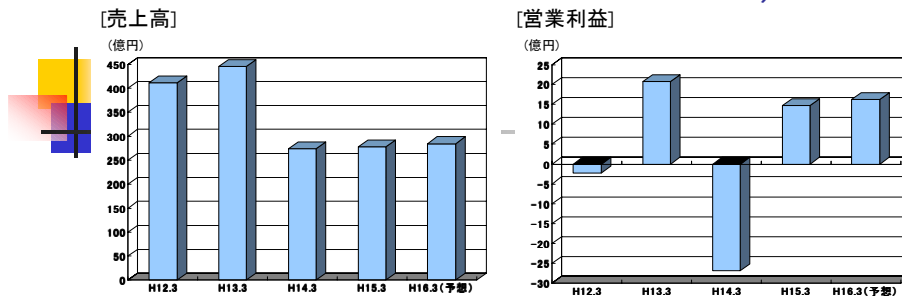


[営業利益]

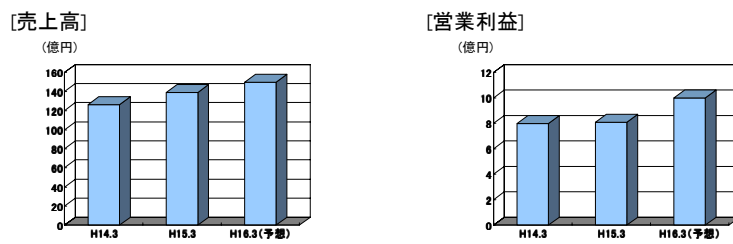


6

ジーエス・メルコテック(株)(現:三洋ジーエスソフトエナジー(株))の業績

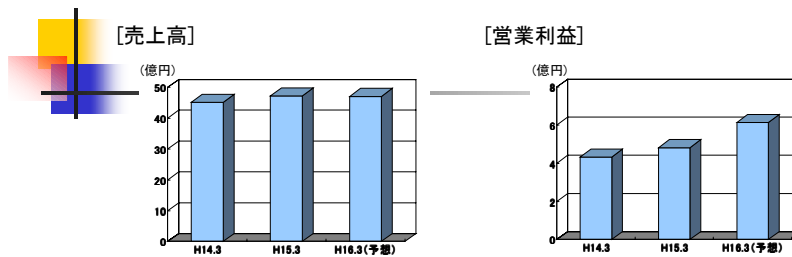


統一グループ(台湾・中国)の業績(通期)

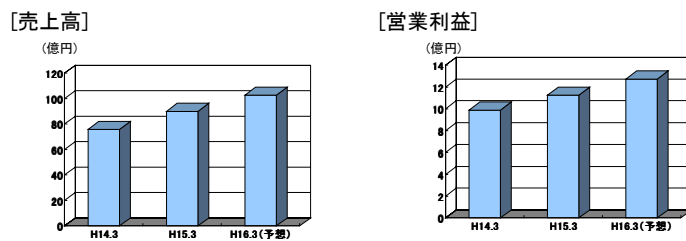


7

SIAM GS(タイ)の業績(通期)



P.T.GS(インドネシア)の業績(通期)



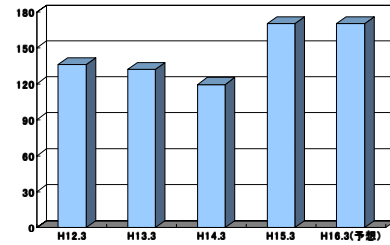
8

[連結]事業セグメント別業績推移

②照明器・特機部門

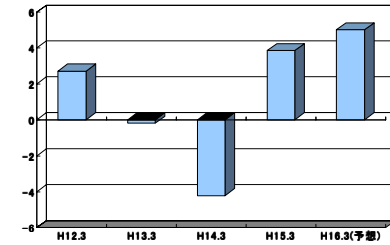
[売上高]

(億円)



[営業利益]

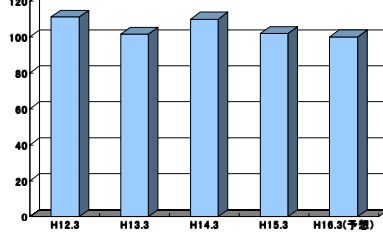
(億円)



③その他部門

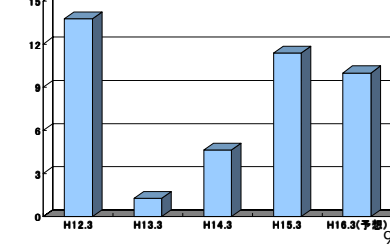
[売上高]

(億円)



[営業利益]

(億円)



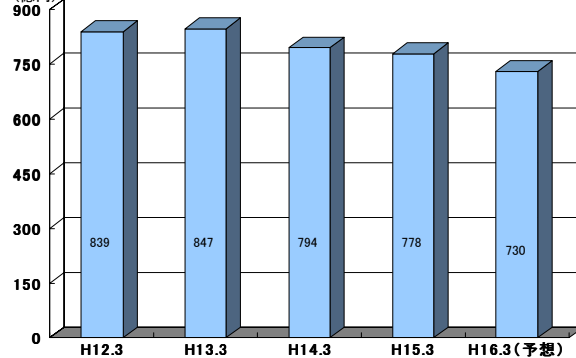
平成15年3月期単独決算概要

(単位:百万円)

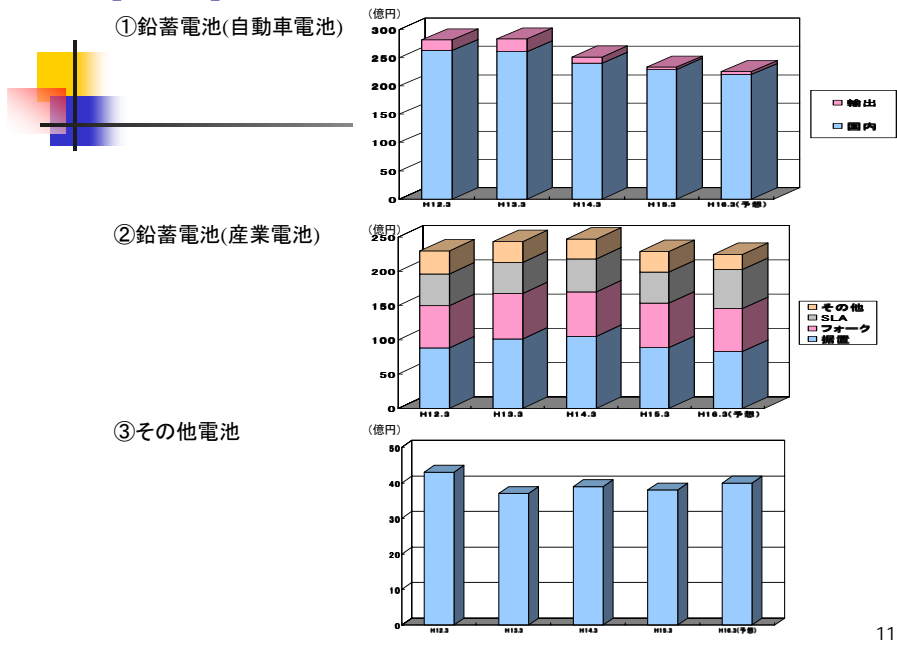
	当 期		前 期		増減額		増減率		平成16年3月期通期予想	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	金額	金額	金額	構成比
売 上 高	77,832	100.0%	79,489	100.0%	△ 1,657	△ 2.1%	73,000	100.0%	73,000	100.0%
営 業 利 益	△ 325	△ 0.4%	610	0.8%	△ 935	—	2,000	2.7%	2,000	2.7%
経 常 利 益	△ 138	△ 0.2%	77	0.1%	△ 215	—	1,000	1.4%	1,000	1.4%
当 期 純 利 益	△ 632	△ 0.8%	△ 3,330	△ 4.2%	2,697	—	600	0.8%	600	0.8%

業績推移(売上高)

(億円)

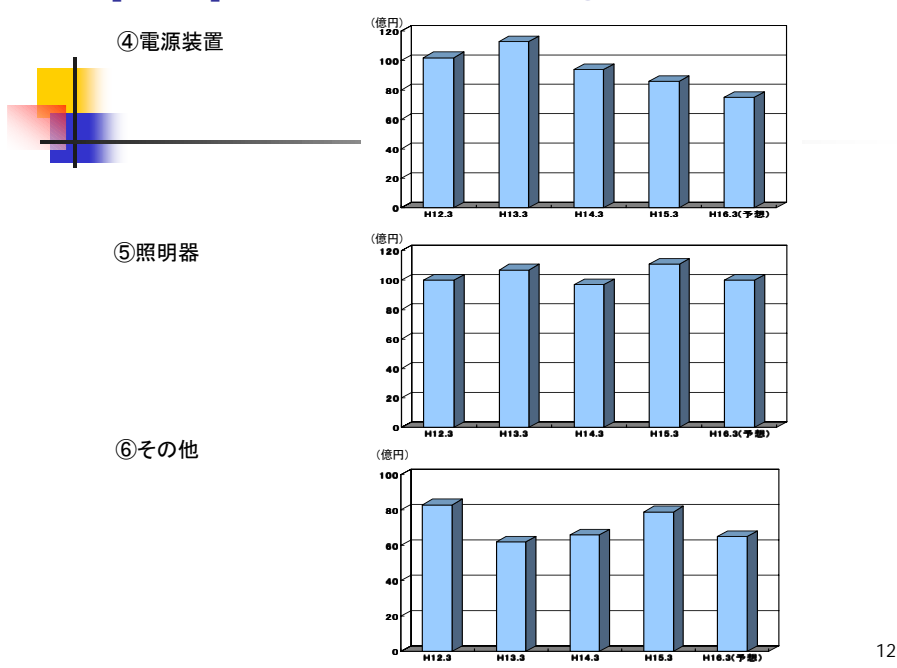


[単体]部門別売上高推移①



11

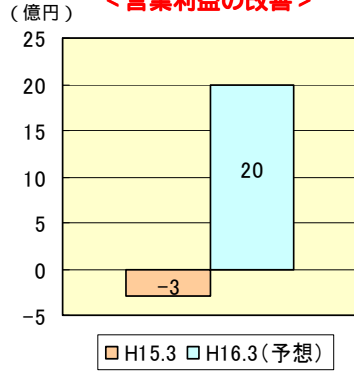
[単体]部門別売上高推移②



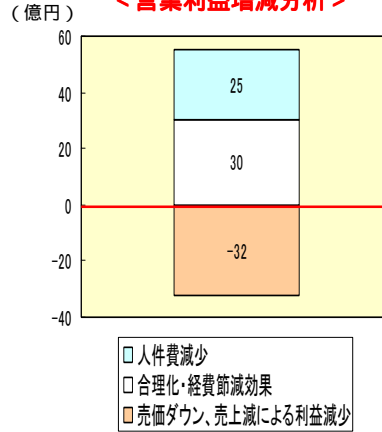
12

平成16年3月期 営業利益改善の構図

< 営業利益の改善 >



< 営業利益増減分析 >



13

平成16年3月期 合理化・経費削減への取り組み

1. 購買の合理化
2. 海外調達比率の向上
3. 工程の合理化
4. 物流費削減
5. 請負、派遣社員の削減

30億円の
合理化・経費
削減効果

14

事業再構築計画の策定

(2002年11月策定)

1. 期間

2004年3月まで

2. 目標

2004年3月期

単独経常利益10億円以上確保

3. 骨子

組織体制の改革

事業構造の改革

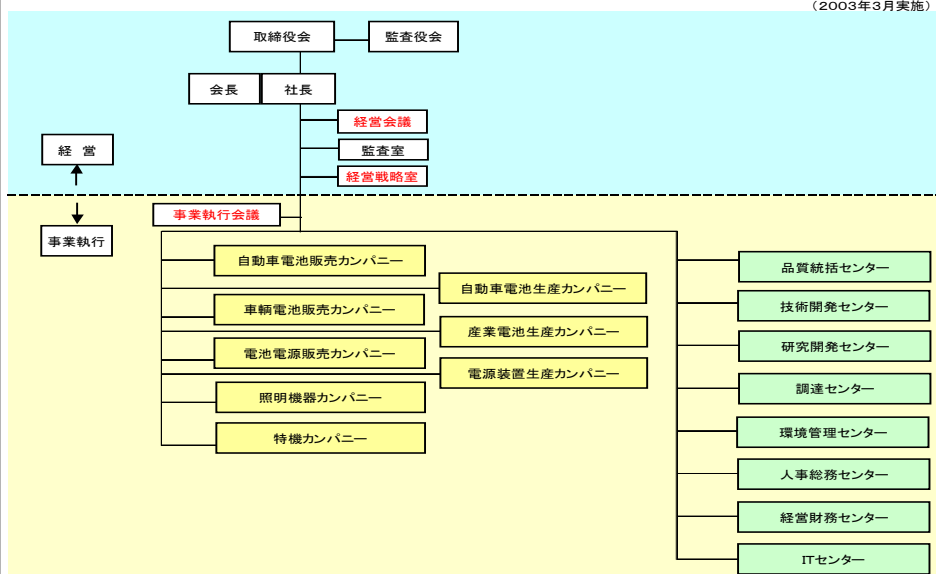
総コストの改革

財務体質の改善

15

①組織体制の改革～組織図～

(2003年3月実施)



16

事業構造の改革

「筋肉質」で「スピード」のある事業体への改革

1. 事業の選択と集中

- ①収益性の高いコア事業・得意分野の強化
- ②海外事業、成長分野、新商品・新技術開発分野への資源の重点投入
- ③不採算分野・商品の縮小や撤退

2. 業務の効率化と組織のフラット化

- ①カンパニーの管理・間接部門の20%効率化
- ②カンパニーのコミュニケーションパスの短縮化

3. 営業力強化

- ①各カンパニー営業施策の再構築強化
- ②ブロック別販売会社の強化と当社本体販売組織のスリム化
- ③海外市場への拡販

17

総コストの削減

1. 部材調達コストの大幅削減

2. 外注加工費の削減

3. 海外生産拠点からの製品・部品調達の拡大

- ・2003年度 年間100万個の自動車用電池を調達

4. 請負、派遣社員の削減・効率化

5. 人件費削減

- ・2003年2月 希望退職255名

6. 物流費削減

7. 経費削減強化

18

財務体質の強化

1. 資産圧縮

- ① 売上債権の流動化
- ② 棚卸資産の削減
- ③ 保有株式の売却
- ④ 遊休資産の整理、活用

2. 借入金の削減

	2003年 3月末実績	2004年 3月末目標
連結	584億円	450億円
単独	453億円	300億円

19

カンパニーの収益改善施策

1. 自動車電池販売カンパニー

- ① 利益確保を主眼とした機種の種類重点拡販
- ② ブロック販社を核とした効率化の推進と競争力の強化

2. 車輦電池販売カンパニー

- ① 利益確保を主眼とした取引の集中による収益改善
- ② 海外市場の拡販
- ③ 新用途・新事業の展開

3. 電池電源販売カンパニー

- ・ 高成長分野への資源重点投入

4. 照明機器カンパニー

- ① 施設照明(エコセラ等)の拡販
- ② UV分野の強化拡大

5. 特機カンパニー

- ① 新市場・新規ユーザーの拡販
- ② 差別化技術の確立

20

中国事業の近況

1. 天津統一工業

①自動車電池生産状況

	年間生産能力
2003年度	200万個
2004年度	300万個

②第二工場の建設予定

年間生産能力500万個体制
(2005年)

③戦略拠点(販売・物流・充電機能)の 進捗状況

2003年4月 重慶にサービスセンターを開設
2004年1月 上海に開設予定

2. 杰士電池(無錫)

①バッテリーフォーク用電池生産状況

2003年4月より生産開始

	年間生産能力
2003年度	5万セル
2004年度	17万セル

②販売展開

現地代理店との合併社を設立

③中国市場のシェア目標

2004年:35%